

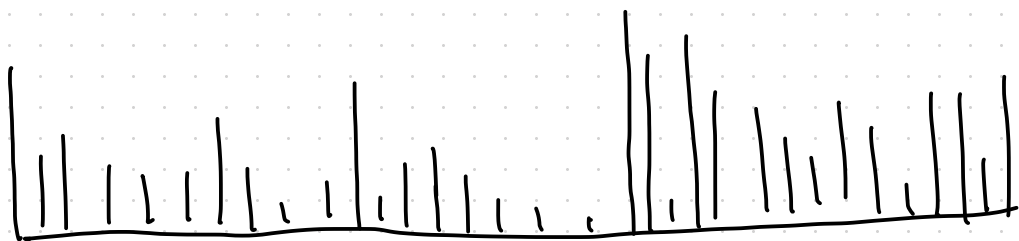
1" 12" 本2 まとめ



事前分布として、様々な分布を用いる

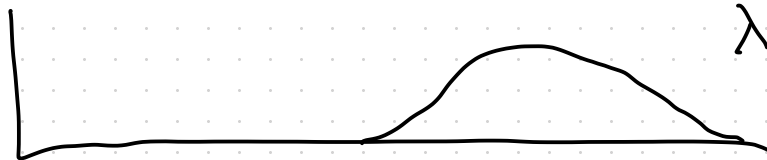
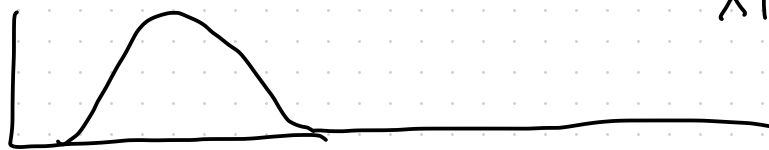
・ポワソン分布・指数分布・ベルヌーイ分布 など

ベイズ的考え方: 不確定なものは不確定なものとして
算出する



↑このゆりデータがあるとき T とする

$$\lambda = \begin{cases} \lambda_1 & (t < T) \\ \lambda_2 & (t \geq T) \end{cases}$$



T を変換点として
事後分布が
異なる

λ_1, λ_2 の
事前分布を
指数分布
 T の事前分布を
一様分布とする

ベイズには親子関係がある

PyMCの分布をrandomすると、親が変化し子も変化する

stochasticは変数なので、変更されるが、

deterministicは定数である

データを取得するときは、アルゴリズムに気をつける

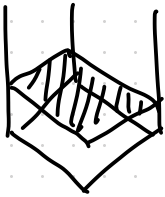


プライバシーアルゴリズム

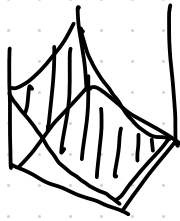
モデルの適切を見極めるためには、

セパレーションプロットを使う

事前分布は高次元になることがある



一様分布



指数分布

など